

高濃度ビタミンC点滴療法の最新論文、米カンザス大で発表 ～英BBC放送でも報道～

高濃度ビタミンC点滴療法の卵巣がんに関するカンザス大学研究者らによる最新研究が、2月5日、米科学誌 Science Translational Medicine に論文発表されました。この発表は、英BBC放送によって2月9日付で報道されました。

高濃度ビタミン点滴療法の効果を卵巣がんへの実験で証明

論文の内容は以下のとおりです。

1. 高濃度ビタミンC点滴療法と化学療法の併用は、卵巣がんの進行を抑制することがマウスを使った実験で明らかになった。
2. 卵巣がんステージⅢからⅣの患者において、高濃度ビタミンC点滴療法の併用によって、化学療法の副作用を軽減させることができた。
3. 高濃度ビタミンCによって過酸化水素が誘導され、酸化的にがん細胞を死滅させた一方、正常細胞には作用しないというメカニズムを改めて検証した。

英国BBCでも報道される世界的な関心の高さ

英BBC放送では、「ビタミンCが化学療法の効果を増大させる」というタイトルで、カンザス大の研究者などへの独自取材を交えて2月9日に報道しました。高濃度ビタミンCによる効果を確実に検証するには、より大規模な研究が必要としながらも、「高濃度ビタミンC点滴が化学療法による副作用を軽減する点は興味深い」という英国がん研究所の研究者の言葉を紹介しています。

BBC NEWS: Vitamin C 'gives chemotherapy a boost'

URL: <http://www.bbc.co.uk/news/health-26038460>

高濃度ビタミンC点滴療法については、1970年代より米国を中心に研究と実践が行われていますが、今回のBBCの報道は、この療法への関心が米国以外でも広がりを見せていることを示しています。

東海大学医学部で安全性が確認されている療法

現在、日本国内における高濃度ビタミンC点滴療法は、300以上の自由診療のクリニックで行われています。三番町ごきげんクリニックでは、2005年以来500名以上の患者さんに対してこの療法を提供してきており、治療の効果や患者さんの症例などを院長澤登の著作「ビタミンCはがんに効く」(2008年、ディスカヴァー刊)で紹介しています。東海大学医学部血液腫瘍内科では、2008年に再発悪性リンパ腫患者に対する同療法の第1相臨床試験を行い、安全性と安全な投与量が確認されています。

国内でも新たなメカニズムを発見

当クリニック院長澤登雅一は、自身が非常勤講師として所属する東海大学医学部血液・腫瘍内科で、同大学川田浩志准教授らと共に高濃度ビタミンCがヒト白血病細胞の血管新生を阻害することで腫瘍の増殖を抑制するというメカニズムを発見しました。この発見は、米国の科学誌「PLOS ONE(プロス・ワン)」に2013年4月23日に掲載されました。同療法の臨床医による論文発表は国内では他に例がありません。

今回のカンザス大学の研究発表は、がん治療における高濃度ビタミンC点滴療法の有効性を更に裏付けるものとなり、この治療の更なる普及を後押しするものと期待しています。

本件に関するお問合せ： 三番町ごきげんクリニック 広報担当 市川美穂

TEL: 03-3237-0072 FAX: 03-3237-0039 E-Mail: info@kenko.org

<参考資料>

【論文タイトル】

「高濃度ビタミンCは卵巣がんの化学療法の効果を高め、かつ毒性を緩和する」

Ma Y et al.: High-Dose Parenteral Ascorbate Enhanced Chemosensitivity of Ovarian Cancer and Reduced Toxicity of Chemotherapy.

Sci Transl Med 2014; 6 (222), p. 222ra18

【研究グループ】

(1) カンザス大学 薬学部／統合医療センター／婦人科オンコロジー部門

(2) 国立衛生研究所(NIH) 糖尿病・消化器系・腎臓病研究部門

【論文の概要】

(1)高濃度ビタミンC環境下で生成されたH₂O₂ は培養卵巣がん細胞の DNA 損傷、ATP 低下、ATM/ATMP 遺伝子を発現し、アポトーシスを誘導。

(2)マウスの実験モデルで、高濃度ビタミンCはカルボプラチン・パクリタキセルの効果を相乗的に高めた。

(3)卵巣がんステージ III-IV の患者において、高濃度ビタミンC点滴の併用によりカルボプラチン・パクリタキセルの薬物毒性を減らした。

【論文URL】

<http://stm.sciencemag.org/content/6/222/222ra18>

【三番町ごきげんクリニック概要】

- 設立年: 2005 年
- 事業内容: がん治療/ アンチエイジング医学の治療及びコンサルティング
- 院長: 澤登雅一
- 所在地: 東京都千代田区三番町 8-1 三番町東急アパートメント 1101
- ウェブサイト: <http://www.kenko.org> (アンチエイジング医療)
<http://www.cancerclinic.jp/> (がん治療)